

2020.12.19

紙つづて

政府が「Go To トラベル」の全国一時停止を判断した直後、菅義偉首相が、自民党の二階俊博幹事長、さらに杉良太郎氏や王貞治氏と「銀座の高級ステーキ店」で会食した。野球の話題が中心だったといい、政策決定のために身を削ったとは思えない。政府が、五人以上の飲食は感染リスクが高まると呼び掛ける中で、八人程度の「忘年会」というのは一般市民にはついていけない。各国のコロナ対策を見ると、強力なロックダウン(都市封鎖)をとった国や、政府を信頼して主権者たちが自ら自粛行動をとった国がある。

日本では、政府への信頼があるとはとても思えない。ただコロナが怖いから自粛行動をとっているように思う。だから、つい感情的になってしまい、自らも苦しいし、厳しい同調圧力のため、(マスク着用の意味がない状況で)マスク不着用を不要に攻撃してしまう事態すら生じてきた。



### 冷静に堂々と

水島 広子

政府を信頼して自粛する人たちは、主権者として政府に物申すこともできる。しかし、恐怖から自粛行動をとる人は、主権者たる自分自身の尊厳どころではなくなってしまう場合も多いのではないだろうか。コロナは確かに厳しい状況ではあるが、主権者同士が敵味方になる構造を作るのではなく、互いにエビデンスを大切にしながら堂々と乗り越えていきたい。コロナで死なないために生きているわけではないのだから。(精神科医)